


INFORMATION

 北関東自動車道 笠間西 IC より 5 分
自動車

 JR 水戸線 稲田駅 隣接
電車

入館料

無料

開館時間

午前 9 時～午後 5 時
(10 月～3 月は午後 4 時まで)

休館日

月曜日 (月曜祝日は翌日)
12 月 29 日～1 月 3 日




茨城県 笠間市

— 未来につたえる、地球の記憶 —

INADA STONE MUSEUM 石の百年館

DATA



構 造：鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造)
外 壁：稲田石貼り仕上げ (一部コンクリート仕上げ)
床 面 積：143.68㎡
設 計：株式会社ジェイアール東日本建築設計事務所
施 工：東鉄工業株式会社
展示設計：株式会社乃村工藝社



筑波山地域 ジオパーク



<http://tsukuba-geopark.jp/>

「ジオパーク」とは、地層・岩石・地形・火山・断層など地球科学的に貴重な見どころを地域の資産として有機的に結びつけた「大地の公園」を意味しています。現在、ジオパークを教育やツーリズムに利用しながら、地域の教育や持続的経済発展に結びつけようという動きが活発化しています。

筑波山を中心とした周辺地域には、中生代白亜紀後期から新生代古第三紀初めに貫入した花崗岩 (稲田石) や斑れい岩 (筑波石) が分布します。それらの岩石とともに日本列島の基盤をなす中生代の地層に加えて、日本列島の輪郭がほぼできあがった新生代新第三紀はじめの火山岩、そして最終氷期以降を含む第四紀 (258 万年前～現在) の地層が観察できます。

石の百年館は、筑波山地域ジオパークの拠点施設として位置づけられています。



石の百年館

〒309-1635 茨城県笠間市稲田 2307
Tel: 0296-74-5114 (JR 水戸線稲田駅隣接)

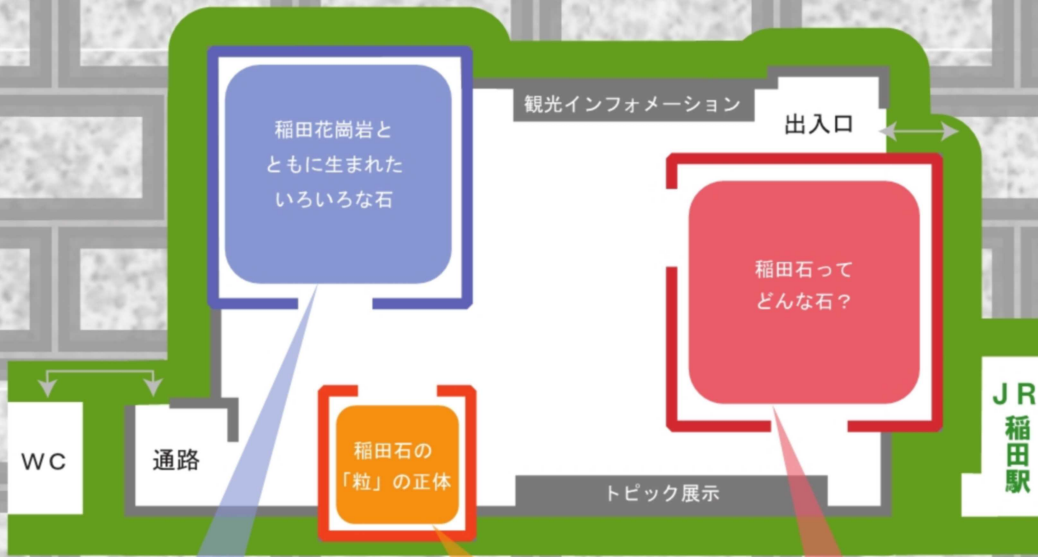
 IBARAKI
DESIGN
SELECTION

ようこそ、 石の百年館へ

「石の百年館」という名称には、先人たちが100年以上にわたって築き上げた稲田地区の採石の歴史を広く後世に伝え、未来へ向けて100年先の発展につなげたいという願いが込められています。

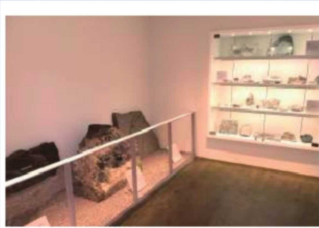
また、印象的な外壁は、結城紬にも見られる日本伝統の「杉綾文様」でデザインされ、稲田石の加工技術の高さを物語っています。

館内には、稲田石にまつわる貴重な資料がわかりやすく解説・展示されているほか、JR稲田駅隣接という立地を活かし、観光交流センターとしての役割も果たしています。



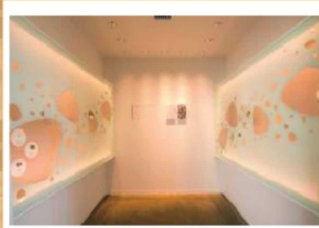
稲田花崗岩とともに 生まれたいろいろな石

稲田石の岩盤の割れで結晶化した水晶など大型でユニークな標本を展示。
稲田地区で産出される鉱物の美しさや多様さを感じることができます。



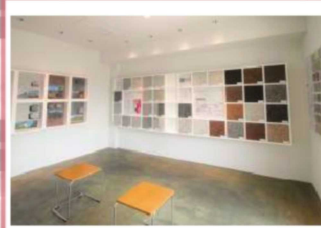
稲田石の「粒」の正体

稲田石を構成する様々な鉱物について学べるコーナー。
顕微鏡写真や標本を通じ、稲田石についてさらに理解を深めることができます。



稲田石ってどんな石?

稲田石が生まれる過程や、産地に伝わる加工技術を紹介。
世界の花崗岩との比較を通じ稲田石の特徴を分かりやすく展示しています。

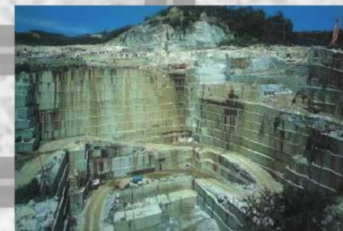


稲田石の歴史

笠間市稲田地区を中心に採掘される「稲田石(稲田みかけ石)」。恐竜が絶滅した後の時代、約6000万年前に地下深くに貫入したマグマが固まってできた岩石で、花崗岩の一種です。際立った白さが特徴の稲田石は、美しい光沢と耐久性を兼ね備え、建材や墓石など幅広い用途に使われてきました。稲田地区での本格的な採掘が始まったのは明治22年。大消費地である東京に近く、良質な花崗岩を豊富に埋蔵していたことから、国会議事堂、国立代々木競技場、最高裁判所など、日本を代表する数々の建築物に稲田石が使用され、日本の復興と経済発展を支えてきました。



▲明治40年頃の作業風景



▲現在の丁場(採石場)



▲大口径切削機

- 1888年(明治22) 有限責任笠間石材会社設立
稲田石の採掘を開始
水戸線開通
- 1896年(明治29) 鍋島彦七郎、稲田石の採掘を開始
トロッキ軌道を整備するとともに、
1553坪の用地を日本鉄道株式会社に寄付
- 1897年(明治30) 稲田駅開業
- 1904年(明治37) 稲田花崗岩石材組合設立
- 1906年(明治39) 開山10周年を記念して鍋島翁頌徳記念碑建立(稲田駅前)
- 1907年(明治40) 火薬使用による石割に成功
- 1920年(大正9) 稲田神社に石鳥居を建立
茨城軌道株式会社設立
- 1947年(昭和22) 稲田石材商工業協同組合設立
- 1950年(昭和25) 石切山脈、茨城百景に選定される
- 1958年(昭和33) 稲田町、合併により笠間市となる
- 1964年(昭和39) 新幹線開通、各駅に稲田石が使用される
- 1965年(昭和40) トロッキ軌道が廃止される
- 1974年(昭和49) 最高裁判所竣工(外壁)
- 1983年(昭和58) 羽黒稲田石材スラッジ処理協同組合設立
- 1994年(平成6) 稲田石材団地造成
- 1995年(平成7) 関タカタ、旧・石の百年館をオープン(～2010年)
- 1998年(平成10) 茨城県庁舎竣工
- 2005年(平成17) いなだストーンエキシブション開催
- 2013年(平成25) JR稲田駅、新駅舎供用開始
- 2014年(平成26) 石の百年館オープン



▲鍋島彦七郎



▲最高裁判所



▲いなだストーンエキシブション